

表5 妊娠または妊娠している可能性のある婦人に禁忌の主な医薬品リスト

薬剤名	区分	何が起きる
アリル酢酸系などの一部のNSAIDs アセメタシン [ランツジール], アンフェナク [フェナゾックス], インドメタシン [インダシン], エモルファゾン [ペントイル], オキサプロジン [アルボ], サリチル酸, ジクロフェナク [ボルタレン], スリンダク [クリノリル], プログルメタシン [ミリダシン], メロキシカム [モービック]	禁忌	胎児循環持続症 (PFC), 胎児の動脈管収縮, 動脈管開存症, 羊水過少症等.
エルゴタミン製剤 [カフェルゴット, クリアミン, ジヒデルゴット]	禁忌	子宮収縮作用及び胎盤, 臍帯における血管収縮.
抗パーキンソン用剤 タリベキソール [ドミン], プラミベキソール [ピ・シフローール], ロピニロール [レキップ]	禁忌	動物で妊娠率の低下, 生存胎児数の減少及び出生児体重の低下等.
抗精神病用剤 チミペロン [トロペロン], ハロペリドール [セレネース], プロムペリドール [インプロメン], フルフェナジン [フルデカシン], モサプラミン [クレミン]	禁忌	動物実験で催奇形性などの胎児毒性またはその疑い.
コリン作動薬 アクラトニウム [アボビス], アセチルコリン [ノイコリンエー], カルプロニウム [アクチナミン], ベクロニウム [マスキュラックス]	禁忌	安全性は確立していない.
ヒドロキシジン [アタラックス]	禁忌	奇形 (口蓋裂等) の疑い, 出産後の新生児に傾眠, 筋緊張低下, 離脱症状, 錐体外路障害, 間代性運動, 中枢神経抑制等の精神神経系症状, 新生児低酸素症.
β遮断薬 アモスラロール [ローガン], アルブレノロール [レグレチン], アロチノロール [アルマール], オクスプレノロール [トラサコール], カルテオロール [ミケラン], カルベジロール [アーチスト], セリプロロール [セレクトール], チリソロール [セレカル], ナドロール [ナディック], ニブラジロール [ハイバジール], ビソプロロール [メインテート], ピンドロール [カルビスケン], プフェトロール [アドビオール], ベタキシノール [ケルロング], ベバントロール [カルバン], ボビンドロール [サンドノーム], メトプロロール [セロケン], ラベタロール [トランデート]	禁忌	安全性は確立していない, 動物実験で発生異常, 体重減少, 胎児移行, 死亡率増加等.
すべてのACE阻害薬 カプトプリル [カプトリル] ほか	禁忌	妊娠中期及び末期に投与すると羊水過少症, 胎児・新生児の死亡, 新生児の低血圧, 腎不全, 高カリウム血症, 頭蓋の形成不全及び羊水過少症によると推測される四肢の拘縮, 頭蓋顔面の変形等. 妊娠初期では胎児奇形の相対リスク上昇.
すべてのアンジオテンシンII受容体拮抗薬 ロサルタン [ニューロタン] ほか	禁忌	妊娠中期及び末期に投与すると羊水過少症, 胎児・新生児の死亡, 新生児の低血圧, 腎不全, 多臓器不全, 頭蓋の形成不全及び羊水過少症によると推測される四肢の奇形, 頭蓋顔面の奇形, 肺の発育不全等.
注射剤を除くすべてのカルシウム拮抗薬 アムロジピン [アムロジン], ジルチアゼム [ヘルベッサー], ベラパミル [ワソラン] ほか	禁忌	動物実験で妊娠期間及び分娩時間が延長等.
すべてのHMG-CoA還元酵素阻害剤 プラバスタチン [メバロチン] ほか	禁忌	動物実験で胎児の骨格奇形. ヒトで, 妊娠3か月までの間に服用したとき, 胎児に先天性奇形があらわれたとの報告.
フィブラート系薬剤 クリノフィブラート [リボクリン], クロフィブラート [ピノグラック], フェノフィブラート [トライコア, リピディル], ベザフィブラート [ベザトール]	禁忌	安全性は確立していない.
プロスタグランジン製剤 アルプロスタジール アルファデクス [プロスタンディン] (軟膏も含む) 等	禁忌	子宮収縮.
PG系に作用する消化器用剤 ベネキサートベータデクス [ウルグート]	禁忌	催奇形性作用.
脳下垂体ホルモン剤 下垂体性腺刺激ホルモン, ソマトロピン [ジェノトロピン], フォリトロピンベータ [フォリスチム]	禁忌	安全性は確立していない.
タンパク同化ステロイドホルモン ナンドロロン [デカ・デュラミン], メスタノロン [メサノロン], メテノロン [プリモボラン],	禁忌	女性胎児の男性化.

薬剤名	区分	何が起きる
男性ホルモン剤 テストステロン [テストノン], メチルテストステロン [エナルモン]	禁忌	女性胎児の男性化.
卵胞ホルモン・黄体ホルモン エストラジオール [エストラダーム], エストリオール [エストリール], 結合型エストロゲン [プレマリン], ノルエチステロン [ノアルテン] 等	禁忌	安全性は確立していない. ヒトにおいて, 妊娠中の女性ホルモン剤 (経口避妊薬等) 投与によって児の先天性異常 (先天性心臓奇形及び四肢欠損症) のリスク増加の報告, 新生女児の外性器の男性化等.
混合ホルモン剤 [エデュレン, ソフィア, ドオルトン, ノアルテン, ロ・リンデオール等]	禁忌	新生女児の外性器の男性化ほか.
経口避妊薬	禁忌	服用の必要がない.
嫌酒薬 シアナミド [シアナマイド], ジスルフィラム [ノックピン]	禁忌	安全性は確立していない.
経口糖尿病用薬 (SU剤) グリクラジド [グリミクロン], グリメピリド [アマリール], グリベンクラミド [オイグルコン], トルブタミド [ヘキストラスチノン] 等	禁忌	胎盤を通過. 新生児の低血糖, 巨大児. 動物で催奇形.
経口糖尿病用薬 (ピクアナイド系) メトホルミン [メルビン], フホルミン [ジベトスB]	禁忌	動物実験で催奇形作用. 乳酸アシドーシスのリスク.
速効型インスリン分泌促進薬 ナテグリニド [ファスティック], ミチグリニド [グルファスト]	禁忌	動物で胎盤透過, 催奇形.
ビスホスホネート製剤 エチドロネ酸 [ダイドロネル], リセドロネ酸 [ベネット] 等	禁忌	動物で, 高用量で胎児の骨格異常の発生.
抗悪性腫瘍剤 (アルキル化剤) ダカルバジン [ダカルバジン], テモゾロミド [テモダール], プスルファン [プスルフェクス]	禁忌	動物で催奇形性.
抗悪性腫瘍剤 (タキサン系) ドセタキセル [タキソテール], バクリタキセル [タキソール]	禁忌	動物で催奇形性.
抗悪性腫瘍剤 (白金製剤) オキサリプラチン [エルプラット], シスプラチン [ランダ], カルボプラチン [パラプラチン], ネダプラチン [アクブラ]	禁忌	動物で催奇形, 胎児致死率の増加, 胎児致死作用等.
アゾール系抗真菌剤 イトラコナゾール [イトリゾール], ミコナゾール [フロリード], フルコナゾール [ジフルカン]	禁忌	動物で催奇形性, 催奇形の疑い等.
外用を除く全てのニューキノロン系抗菌剤 エノキサシン [フルマーク], オフロキサシン [タリビッド], シプロフロキサシン [シプロキサ], トスフロキサシン [オゼックス], ノルフロキサシン [バクシダール] 等	禁忌	安全性は確立していない.
アカルボース [グルコバイ]	禁忌	安全性は確立していない.
アクタリット [モーバー]	禁忌	安全性は確立していない.
アザチオプリン [イムラン]	禁忌	染色体異常児の出生, 早産及び低出生体重児の出産. 動物で催奇形.
アプリンジン [アスベノン]	禁忌	安全性は確立していない.
アマンタジン [シンメトレル]	禁忌	催奇形性の疑い.
アムリノン [アムコラル]	禁忌	動物実験で骨格異常及び外形異常.
アムルピシン [カルセド]	禁忌	動物で胎児移行, 催奇形.
イノシトールヘキサニコチネート [ニコキサチン]	禁忌	安全性は確立していない.
イマチニブ [グリベック]	禁忌	流産の報告. 動物で胎児毒性.
エキセメスタン [アロマシン]	禁忌	動物で, 分娩障害, 妊娠期間の延長, 吸収胚数の増加, 生存胎児数の減少, 流産, 胎児体重の低下.
エトボシド [ラストット]	禁忌	動物で催奇形性.
エトレチナート [チガソン]	禁忌	催奇形 (頭蓋顔面欠損, 脊椎欠損, 四肢欠損, 骨格異常等).
エベロリムス [サーティカン]	禁忌	動物で胚・胎児毒性を含む生殖発生毒性.
エルゴメトリン [メテルギン]	禁忌	子宮収縮作用により子宮内の胎児への悪影響, 流産.
エンプロスチル [カムリード]	禁忌	動物実験において子宮収縮作用 (妊娠ラット, 妊娠サル), 胎児毒性 (ウサギ: 致死), 新生児毒性 (ラット: 発育抑制).
オキサトミド [セルテクト]	禁忌	動物で催奇形.

薬剤名	区分	何が起きる
オーラノフィン [リドロー]	禁忌	動物で催奇形.
オルノプロスチル [ロノック]	禁忌	子宮収縮作用 (流産の可能性).
オルプリノン [コアテック]	禁忌	体重の増加抑制, 化骨遅延.
カベシタピン [ゼローダ]	禁忌	動物で胚致死及び催奇形.
ガンシクロビル [デノシン]	禁忌・警告	催奇形性, 変異原性並びに発がん性.
グスペリムス [スパニジン]	禁忌	動物で発育遅延, 胎生期死亡.
グリセオフルビン [ボンシル]	禁忌	動物で催奇形.
ケノデオキシコール酸 [チノ]	禁忌	動物実験で, 胎仔肝の組織学的変化.
ゴセレリン [ゾラデックス]	禁忌	動物実験で流産もしくは分娩障害が認められており, また他の LH-RH 作動薬による流産の報告.
コルヒチン [コルヒチン]	禁忌	動物で催奇形性.
サルボグレラート [アンブラーグ]	禁忌	動物実験 (ラット) で胎児死亡率増加及び新生児生存率低下.
シクロフェニル [セキソビット]	禁忌	類似化合物の動物実験で胎児毒性並びに催奇形性等.
シロスタゾール [プレタール]	禁忌	動物実験で異常胎児の増加並びに出生児の低体重及び死亡児の増加.
トリメトプリム・スルファメトキサゾール [バクタ]	禁忌	先天異常児出生の症例, 動物で催奇形性.
タクロリムス [プログラフ, プロトピック] (軟膏も)	禁忌	動物実験 (経口投与) で催奇形作用, 胎児毒性.
ダナゾール [ボンゾール]	禁忌	女性胎児の男性化.
タモキシフェン [ノルバデックス]	禁忌	自然流産, 先天性欠損, 胎児死亡.
テガフル [フトラフル]	禁忌	テガフル・ウラシルを投与された婦人において奇形児を出産したとの報告. 動物で催奇形.
デラビルジン [レスクリプター]	禁忌	異所性妊娠, 低出生体重. 動物で催奇形.
トリロスタン [デソバン]	禁忌	妊婦において血中プロゲステロンの低下. 動物実験で胎児毒性及び母獣の妊娠維持能の低下.
ドロキシドパ [ドプス]	禁忌	動物実験等で発生異常.
トロピセトロン [ナボバン]	禁忌	動物実験 (ラット) で受胎率の低下, 胚死亡及び流早産.
ドンペリドン [ナウゼリン]	禁忌	動物実験 (ラット) で骨格, 内臓異常等の催奇形作用.
ナファレリン [ナサニール]	禁忌	他の Gn-RH 誘導体による流産の報告があり, 本剤の動物実験で流産等の生殖障害.
ノギテカン [ハイカムチン]	禁忌	動物で催奇形性.
バルガンシクロビル [バリキサ]	禁忌・警告	活性代謝物が催奇形性, 遺伝毒性及び発がん性.
ピオグリタゾン [アクトス]	禁忌	安全性は確立していない. 動物で胎児毒性.
ヒドロキシカルバミド [ハイドレア]	禁忌	動物で催奇形性.
ファドロゾール [アフエマ]	禁忌	閉経前の患者への投与は想定されていない.
ブセレリン [スプレキュア]	禁忌	他の GnRH 誘導体による流産の報告.
ブプレノルフィン [レベタン]	禁忌	新生児に禁断症状, 動物実験で難産, 拙劣な哺育行動, 出生児の生存率の低下及び体重増加の抑制等.
フルシトシン [アンコチル]	禁忌	動物で催奇形性.
フルダラビン [フルダラ]	禁忌	奇形児出生の報告.
フレカイニド [タンボコール]	禁忌	動物で催奇形性.
プロブコール [シンレスタール]	禁忌	安全性は確立していない.
ベニシラミン [メタルカプターゼ]	禁忌 (例外有り)	催奇形性を疑う症例.
低分子量ヘパリン [ローヘパ]	禁忌	安全性は確立していない.
ベプリジル [ベプリコール]	禁忌	動物で分娩障害, 出生児の体重増加抑制及び生存率の低下.

薬剤名	区分	何が起きる
ヘブロニカート [メグリソ]	禁忌	安全性は確立していない。
ペミロラスト [リザベン]	禁忌	動物で骨格異常の増加。
ベメトレキセド [アリムタ]	禁忌	動物で催奇形性。
ベラプロスト [ドルナー]	禁忌	安全性は確立していない。
ベンズプロマロン [ユリノーム]	禁忌	動物で催奇形性。
ボセンタン [トラクリア]	禁忌	動物で催奇形性。
ポリコナゾール [ブイフェンド]	禁忌	動物で催奇形性。
マジンドール [サノレックス]	禁忌	動物で催奇形性。
ミコフェノール酸 [セルセプト]	禁忌	動物で催奇形性。
ミソプロストール [サイトテック]	禁忌	子宮収縮，子宮出血，流産。
ミゾリピン [プレディニン]	禁忌	催奇形の疑い。動物で催奇形性。
メトトレキサート [リウマトレックス]	禁忌	催奇形の疑い。動物で催奇形性。
メピチオスタン [チオデロン]	禁忌	動物で催奇形性，雌性胎児の雄性化。
メフロキン [メファキン]	禁忌	動物で催奇形性。
モザパブタン [フィズリン]	禁忌	動物で催奇形，胚致死作用，胎盤通過，妊娠率及び着床数あたりの生存率の低下，生殖細胞に染色体異常を誘発する可能性。
ラロキシフェン [エビスタ]	禁忌	動物で流産，奇形，発達異常などの胎児毒性。
リチウム [リーマス]	禁忌	心臓奇形の増加，動物で催奇形性等。
リマプロスト アルファデクス [オパルモン]	禁忌	動物で子宮収縮作用。
リルゾール [リルテック]	禁忌	動物で催奇形性。
レセルピン [アポブロン]	禁忌	動物で催奇形性。
ロメリジン [ミグシス]	禁忌	動物で催奇形作用（骨格・外形異常）。
ワルファリン [ワーファリン]	禁忌	胎盤を通過し，点状軟骨異常栄養症等の軟骨形成不全，神経系の異常，胎児の出血傾向に伴う死亡の報告がある。また，分娩時に母体の異常出血があらわれることがある。

注) 2007年3月現在の各医薬品の添付文書から抜粋してまとめた。

なお，本表は妊婦等に禁忌となっている医薬品を全て網羅しているわけではないのでご注意ください。